

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：郷土資料館指定管理委託運営事業（基金）								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字駒形富士山316番地								
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町郷土資料館けやき館は、平成26年11月の開館以来、町内外から多くの来館者で賑わい、瑞穂町を代表する集客施設となっている。特に、瑞穂町の自然を紹介する「狭山丘陵の再現」やプロジェクトマップによる瑞穂町の生い立ちを紹介する「地形シアター」、上空1700mから撮影された航空写真「バーズアイ」、隣接する米国空軍横田基地に関するコーナー設置等、他の資料館では見ることのできない展示もそうであるが、魅力ある企画展、各種講演会、イベントなど日々何かしらの行事を仕掛けている運営が好評であり、これらの発想は指定管理業者によるところが大きい。公の考えにとられない運営状況が、当館の入館者数に反映されている。これらの運営費等に補助事業を該当させることで、安定的な運営をベースに、更なる事業仕掛けを行うことで、瑞穂町の魅力発信につなげるとともに交流人口の増加に寄与することを目的とする。</p>								
補助事業の内容	郷土資料館の管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から平成37年度までの間 基金の処分：平成29年度から平成38年度までの間								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0
	平成29年度	70,000,000	0	0	200	70,000,200	30,000,000	42,500,200	55,843,644
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]                  瑞穂町郷土資料館けやき館では、企画展や各種講演会、親子で楽しめる体験教室や耕心館との連携事業（みずほ雛の春まつり・山野草まつり）など魅力ある事業を実施した。また、町が進める「みずほきらめき回廊」の拠点施設として情報の発信、周辺施設との連携事業の実施、各種団体等の協力、広報活動の充実を図り、年間の来館者数は40,392人と前年比15.8%、5,506人増加となった。なお、来館者の約6割の方は2回以上来館されており、積極的に瑞穂町の魅力を発信し、地域の活性化に努めた。                  館内に年間をとおして設置しているアンケート調査では、93名の方から回答をいただき、展示の見やすさやスタッフの対応などの項目で、約8割の方から「大変良い」「良い」という回答をいただきました。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]                  広報紙及びホームページへの掲載。郷土資料館館内に防衛省調整交付金を活用した旨をPRしている。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応									
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								